

光触媒でコーティング

パイオニア合同会社

アフターケアで安心施工

コロナ禍で大きな打撃を受けた観光業界。インバウンド客をメインに観光バス事業などを展開するパイオニア合同会社（豊見城市）は、新たな取り組みをスタートさせた。

施設全体をコーティング

日々、感染予防徹底を模索する中で、榮山恵二取締役がたどり着

「施工前と施工後、アフターケアには専用の測定器で測定している」と説明する、パイオニアの榮山恵二取締役



いたのが木下抗菌サービス（東京都）が開発・施工するコーティング剤だった。噴霧することで施設全体が溶剤でコーティングされ、汚れを落としやすくし、ドアノブやスイッチなど共有部分などでの接触感染予防が期待されているという。

施工時間は2～3時間程度で、効果は1年間の保証がつくが、3カ月・10カ月目には効果の持続を測定するアフターケアも行っている。県外では東京タワーや東映太秦映画村などでの施工実績がある。8月から沖縄での施工を請け負うパイオニアには現在、児童クラブや食品加工会社、飲食店やエイサー団体などからの問い合わせがあるという。

那覇市で10年間、飲食店を営む



飲食店での施工の様子（パイオニア提供）

張開さんは10月初めに施工した。「お客さんとスタッフ、その家族を守るため依頼した。地元のお客さんも多く、（施工済みの）ステッカーを見て、安心して来店してくれる」と信頼を寄せた。



「お客様にも安心して入ってもらえる」と、施工済みのステッカーを掲示する張さん